

視界の中にギザギザが…

女性から電話がかかってきました。「鼻炎のおクスリをのんでいます、偏頭痛がひどいので、鎮痛薬も一緒にのんでいいですか？」と。

お伝えしました。「総合かぜグスリには、両方の成分が入っているくらいですから、大丈夫です。時間を空けて服用すれば、より安全ですが、服用量を減らせば、同時に服用してもいいですよ」

翌日のこと、電話をしてきたご本人が来局、「昨日は、ていねいにお答えくださってありがとうございます」と。

顔馴染みの40歳代の女性で、偏頭痛とのことなので、詳しく聴きました。幼稚園に勤務、コロナ禍の卒園式の準備などがあり、いつになく忙しいとのこと。

花粉症の季節を迎え、鼻がグズグズして、うっとうしいとも。しかも、低気圧が近づき、天気が悪く、疲れがたまった週末——。これだけ悪条件が揃えば、偏頭痛が出て不思議ではありません。

そこで、閃輝暗点せんきあんてんが出たか尋ねると、その言葉は初耳だったようです。ご説明すると、「確かに視界の中にギザギザが現れました」と。

段々と拡がり、20分位で視界から消えていったようですが、途中で目をつぶってもギザギザは消えず、「ずっと何だろうと思っていました」とのこと。

理解された喜び

閃輝暗点が消えてから、偏頭痛が起こる人がいます。また、閃輝暗点が出てい

店頭から
「こんにちは」

第116回

誰にも分かってもらえない症状に悩む女性の声を聴く
安心したとき吐き気をもよおす場合

偏頭痛の方から、おクスリのみ合わせに関する相談がありました。どうやら人知れず悩んできたことがあるようで、詳しく聴くと――。



る間は、頭がボーっとしていて、消えてしまうと、何もなかったかのように正常に戻る人も。

脳の視覚野あたりの血流が、急激に変化するのが原因とも考えられています。

心身の疲れがたまって、ホッとしたときによく起こるようです。

寝床から起きたとき、ヒドい吐き気が出て起きられず、寝ているしか対処法がない人も。事実、私の母は、若いころから、疲れると、もどしていましたし、私も閃輝暗点が出るので、「この体質は遺伝すると思います」とお伝えしました。

すると、「実は、私の母も」と。「かかりつけ医に話しても、分かってもらえませんでした。眼科へ行ってもダメですよ。ね。眼の病気じゃないんですものね」と納得していただいた様子。

「長年、分かってくれる人がいなかったのに、分かっていただき、しかも、詳しく教えてもらい、とてもうれしかったです」との言葉を残して、帰られました。

私が講演会でお話ししたとき、100人の中に1～2人、閃輝暗点を体験した人が。そのくらいの確率で罹患者がいるのかも知れません。どうか、お大事に。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「続くコロナ禍。ご自愛ください」

